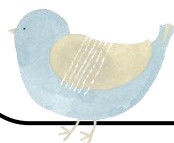


つみきのくらし

NO.21

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもの素敵な姿をお伝えしていきます。



大浦 久子
(番外編)

今回のつみきのくらしは、子どもたちと身近な立場である職員が行っている研修について紹介したいと思います。

つみきでは園内研修を月1、2回行っています。遊びの動画を見て職員間で“この子は何に夢中になっていたんだろう”“自分だったら大人にどう対応してほしい”“遊びを発展させるにはどうするか”等見守りや声掛けについて話し合う研修、ニュースで取り扱われる他園の事故や事件を題材に、自分たちの日常を振り返る研修、新しい手作り遊具を作った後、**どう見守るかの研修**をしています。そのほかには、日常に起こりうるものに対する研修として救命講習や嘔吐物対応なども行っています。

先日行った救命講習を
紹介します！

内容

- ・ AEDを使った心肺蘇生
- ・ ハチ対応、熱中症について
- ・ 誤飲・誤嚥(ごえん)対応

乳児の場合は、
指2本でマッサ
ージします



大人ののどつまり
に使う対処法は子
ども向けではない
ようです。正しい
対処法を教えてく
れました。



講師として、
厚真消防署から職員
2名にご協力いた
だきました。

誤嚥(ごえん): のど
つまりの時の対処
法です。背中を思
いきり叩きます。
(実際に背中を叩
いてもらおうと咳
込みました)



いつだれが、どの
タイミングで必要
になるかわかり
ません。保育事務
の宮崎さんも研
修に参加です。



研修の最後に参加者全員が、乳児の人形に心臓マッサージをしました。大人より力を抜き、早いテンポで続けるということを職員たちは体で覚えようとしていました。



よく「つみきは研修が多いね」と言われます。それは、子どもたちと触れ合う環境には、人的環境も含まれるからです。遊びの環境だけ整えてもいい環境とは言えません。だから、大人たちも子どもたちにとって良い環境になれるように、研修を続けていきます。